

令和5年5月22日

肱川ダム統合管理事務所

野村ダム改良工事を本格的に着手します

～野村ダム改良事業の起工式の開催～

肱川ダム統合管理事務所では、平成30年7月豪雨を契機とした野村ダム改良工事を本格的に着手することとなりました。それにあわせて、野村ダム改良事業の起工式を下記のとおり開催します。

なお、起工式につきましては、一般の方の観覧も可能であり、西予市主催の関連行事も参加可能です。

野村ダム改良事業は、平成30年7月豪雨と同規模の洪水をダム下流の河川改修と相まって肱川からの氾濫を防ぐことを目的に、国土交通省において実施する事業です。

記

■開催日時：令和5年6月4日（日）

■時間・場所

・式典 時間：10:00～11:00（受付開始9:30～）

場所：乙亥会館アリーナ（西予市野村町野村12号10番）

・視察 時間：11:30～12:00（視察は、式典招待者の希望者のみです）

場所：野村ダム

※一般の方も式典の観覧は可能です。なお、観覧席は2階席となります。

※報道関係の方で取材を希望される方は、5月29日（月）17時までに別紙取材申込書で申し込みください。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模 自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所

西予市野村町野村8-153-1 TEL0894-72-1211（代）

FAX 0894-72-3895

副所長：南本 秀行（内線 204）

○管理課長：石丸 満久（内線 331）

○：主な問い合わせ先

野村ダム改良事業 起工式 概要

- 1 日 時 令和5年6月4日(日)
10時00分～11時00分（9時30分 受付開始）
- 2 式 典 会 場 西予市野村町野村12号10番 乙亥会館アリーナ
- 3 主 催 四国地方整備局
- 4 主な出席予定者 愛媛県知事、西予市長、大洲市長、内子町長
国会議員、県議会議員、市議会議員
地元関係団体など約90名

5 式 典 概 要

- 1) 開式の辞
- 2) 主催挨拶
- 3) 来賓祝辞
- 4) 来賓紹介
- 5) 祝電披露
- 6) 事業概要説明
- 7) 施工者代表者挨拶
- 8) くす玉開披及び初鍬
- 9) 閉式の辞

※式典終了後、関連イベントとして乙亥会館において西予市主催による

「乙亥太鼓」「箏曲演奏」「餅まき」が開催されます。

（一般の方も参加可能）

6 現地視察

野村ダム改良事業起工式における一般観覧時の注意事項

- 1) 来賓以外で起工式の観覧を希望される方（以下、「観覧者」という）は、乙亥会館2階席をご利用ください。
- 2) 観覧者は、会場内において次の事項を遵守してください。
 - ①携帯電話は、マナーモードもしくは電源を切り、使用しないこと。
 - ②式典中の発言、拍手、ヤジ等はしないこと。
 - ③プラカード、はちまき、腕章の類いなどをしないこと。
 - ④みだりに席を離れないこと。
 - ⑥ビラ、資料等の配布はしないこと。
 - ⑦その他、会場の秩序を乱したり式典の進行の妨げになるような行為は行わないこと。
- 3) 観覧者が前記に掲げる事項を遵守しない場合は、主催者側より退室を指示することがありますので、その場合は速やかに退席してください。

取材申込書（FAX）

肱川ダム統合管理事務所 管理課 宛

FAX番号：0894-72-3895

	野村ダム改良事業 起工式
取材希望に○印を お願いします	式典（ ） ・ 視察（ ）
貴社名	
ご担当者氏名	氏名 所属部署名等
ご連絡先	電話番号 FAX番号 E-mail
取材者人数	人
車両ナンバー	

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所 管理課
TEL 0894-72-1211（代表）

※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。

【5月29日（月）17：00締め切り】

取材申込書（FAX）

肱川ダム統合管理事務所 管理課 宛

FAX番号：0894-72-3895

	野村ダム改良事業 起工式
取材希望に○印をお願いします	式典（ ） ・ 視察（ ）
貴社名	〇〇テレビ
ご担当者氏名	氏名 野村 太郎（例） 所属部署名等 〇〇テレビ 西予支社
ご連絡先	電話番号 090-1234-5678（例） FAX番号（ ） E-mail
取材者人数	1 人
車両ナンバー	愛媛56ふ1234（例）

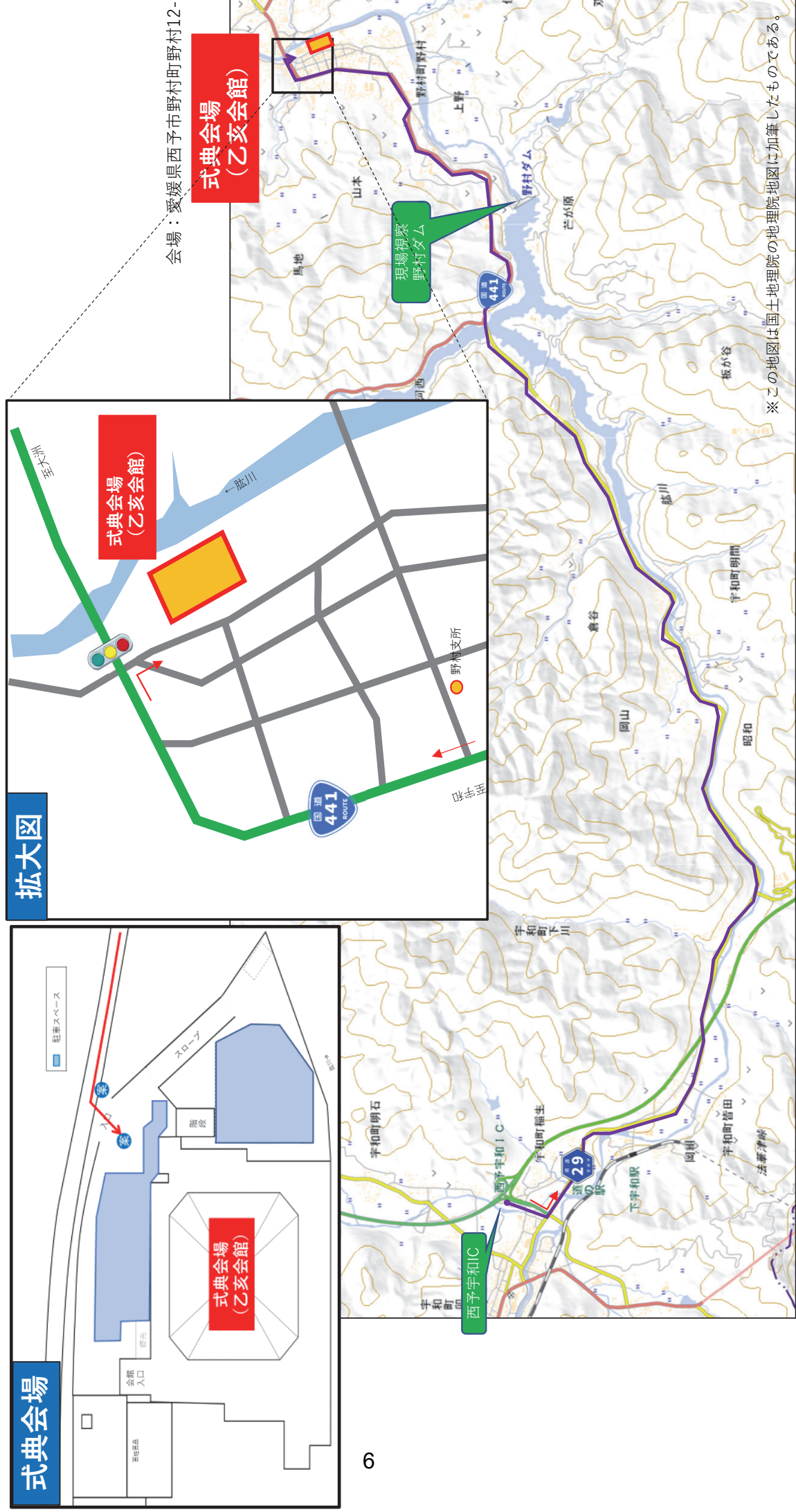
【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所 管理課
TEL 0894-72-1211（代表）

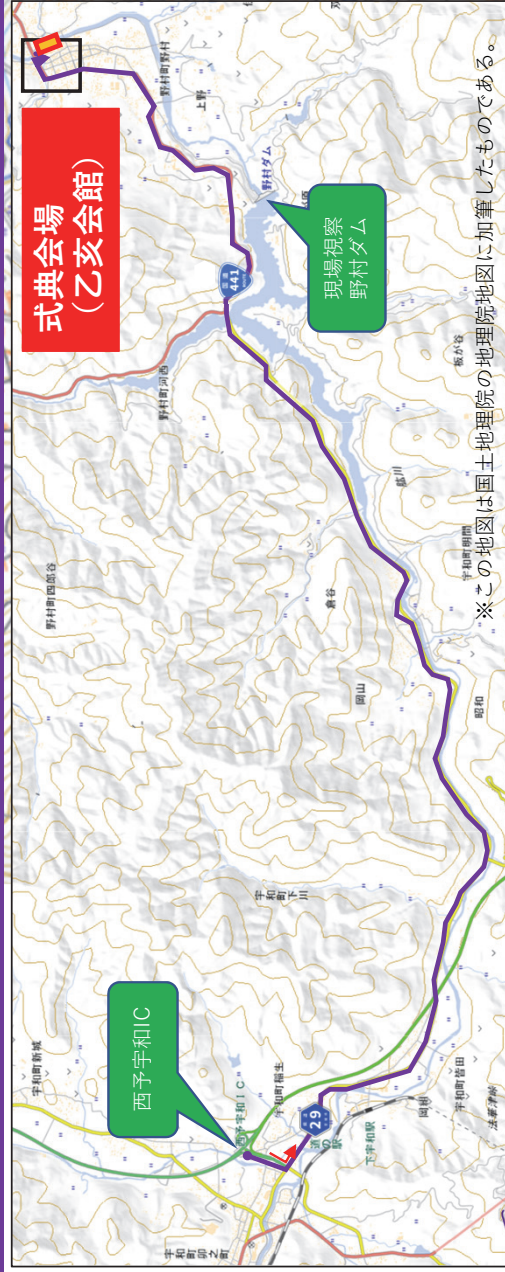
※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。

【5月29日（月）17：00締め切り】

野村ダム改良事業 起工式 会場案内図



野村ダム改良事業 起工式 式典会場～現場視察



【式典会場からの移動方法】

- ・式典会場からの移動は、マイクロバスを使用します。
- ・所要時間は、移動込みで30分ほどの予定です。

肱川ダム統合管理事務所

現場視察(野村ダム)

※この地図は国土地理院の地理院地図に加筆したものである。



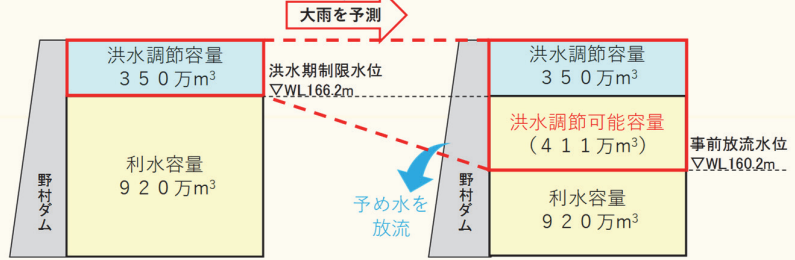
目的 洪水調節

工期 平成30年7月豪雨後概ね10年程度の予定

野村ダムでは、事前放流により確保した容量を効率的に活用するために、堤体に放流設備を増設します。これにより、平成30年7月豪雨と同規模の洪水を河川改修と相まって、肱川の氾濫を防ぐことができます。

【通常時の容量】

【大雨が予測される場合の容量】



1. 容量の有効利用

大雨を予測すると、予め水を放流して貯水位を下げ、洪水に備えます（事前放流）。

利水容量の一部を一時的に洪水を貯留する容量に用いることで、ダムを大きくしなくても、ダムに貯められる水の量をこれまで以上に増やすことができます。

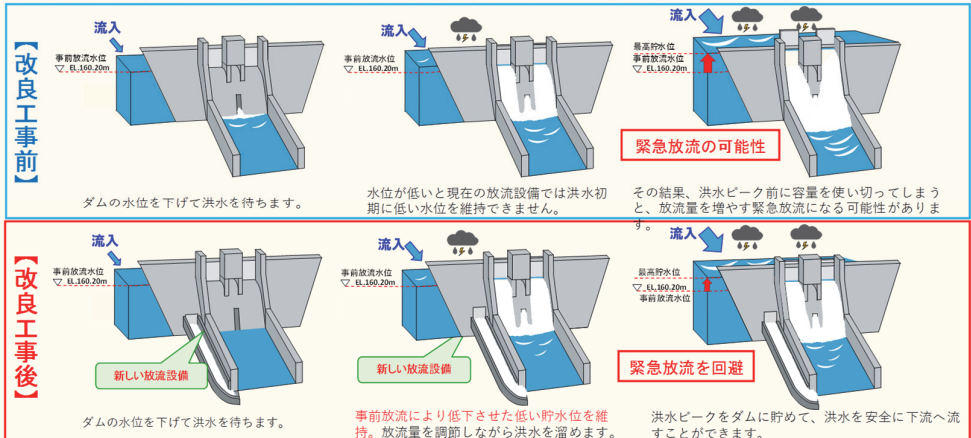
2. 放流設備の増設

事前放流を行って貯水位が低くなると、現在の放流設備では洪水初期に低い水位を維持することができません。

放流設備を増やして、事前放流により低下させた低い貯水位を維持します。

容量がすぐに満杯にならないように放流量を調節しながら洪水を貯めることができます。

※この図はイメージであり、貯水位と放流設備の高さの関係は実際とは異なります。平成30年7月洪水と同規模の洪水を想定したイメージ図。



野村ダム改良事業【肱川水系治水協定】

- 野村ダムでは、洪水調節機能の強化を図るため、河川管理者並びにダム管理者及び関係利水者等の間で、**肱川水系治水協定（令和2年5月）**を締結。
- 洪水調節容量（350万m³）に加え、事前放流により一時的に洪水を調節するための容量（**洪水調節可能容量411万m³**）を確保。（**合計761万m³**）

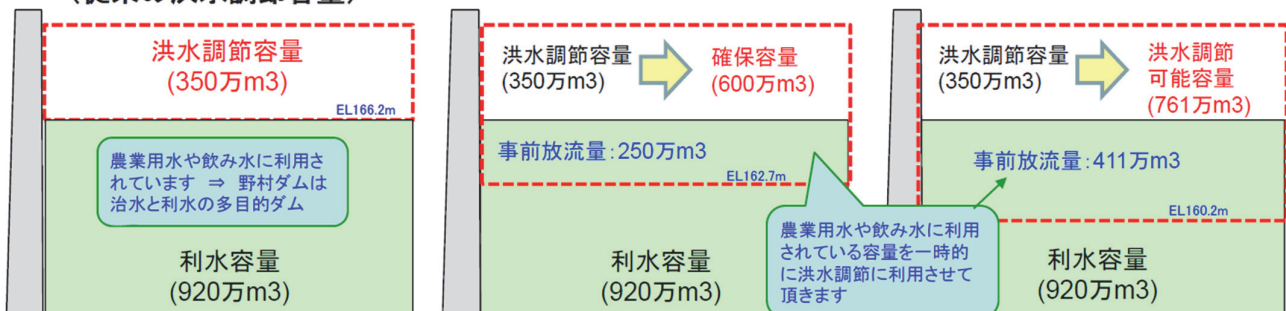
肱川水系治水協定締結者

- 河川管理者 国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所長
愛媛県 土木部長
- ダム管理者 国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所長
- 関係利水者等 農林水産省 中国四国農政局 四国土地改良調査管理事務所長
愛媛県 公営企業管理局長
南予水道企業団 企業長

平成30年7月豪雨前
（従来の洪水調節容量）

平成30年7月豪雨時

令和2年5月治水協定締結



・洪水期（6/16～10/15）は**350万m³**の洪水調節容量を常に確保。

・利水容量の一部（250万m³）を事前に放流（利水者の協力）

・利水容量の一部（**411万m³**）を事前に放流（令和2年5月肱川水系治水協定）

・従来の洪水調節容量**350万m³**に事前放流した**250万m³**を加え、**600万m³**を確保

・従来の洪水調節容量**350万m³**に事前放流した**411万m³**を加え、**761万m³**を確保

※容量図については、容量の割合を図に表したイメージ図としていますので、実際の貯水位のイメージとは異なります。

○従来の洪水調節容量350万m³に加え、事前放流により確保する411万m³をあわせた761万m³の洪水調節可能容量を有効活用するため、低い貯水位を維持出来るように新たな放流設備を設置します。

断面図

【新たな放流設備の諸元】

- 削孔断面: 5.4m×5.4m
- 放流管径: φ4.2m
- 放流管の延長: 約52m
- 主ゲート: 高圧ラジアルゲート B4.2m×H2.8m
- 予備ゲート: 高圧ローラゲート B5.88m×H5.88m

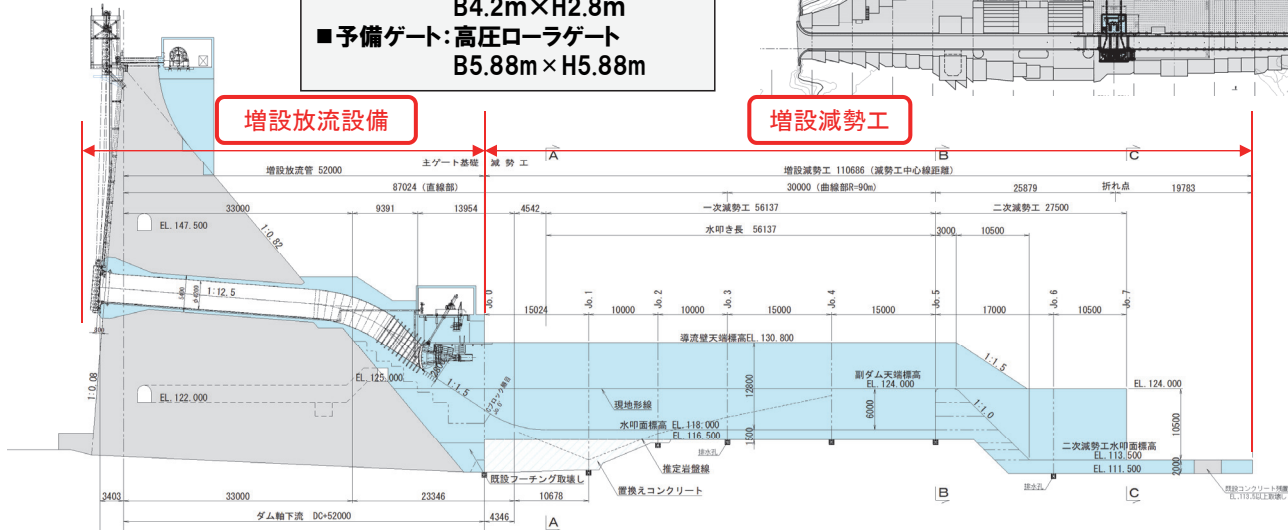
平面図

増設減勢工

増設放流設備

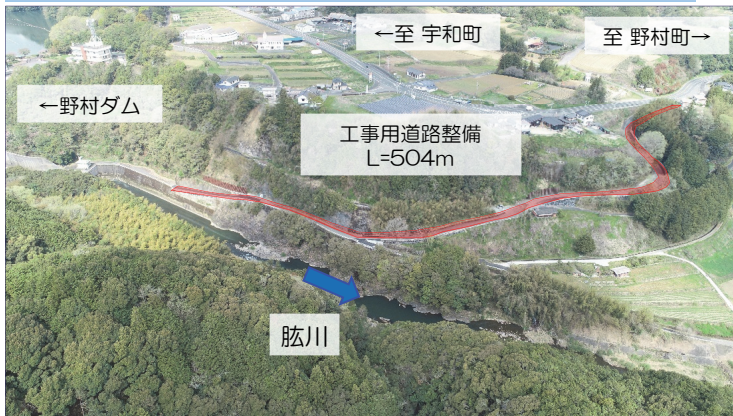
増設減勢工

増設放流設備



現在の進捗状況（R5.5現在）

ダム下流左岸工事用道路整備（施工完了）



ダム下流左岸の状況



整備状況

ダム天端仮設構台、渡河橋施工の状況



ダム天端右部仮設構台



渡河橋